

## 玉野市立図書館資料収集基準

### (目的)

第1条 この基準は、玉野市立図書館（以下「市立図書館」という。）の「玉野市立図書館資料収集方針」に基づき、資料の収集に関する必要な事項を定める。

### (収集の基準)

第2条 収集の基準は、次のとおりとする。

#### (1) 本館用一般図書

- ア 市民の要求や社会情勢、出版状況等を考慮して選定する。
- イ 市民の教養・学習・趣味・娯楽に役立つ、幅広い分野の基本図書および実用書等を選定する。
- ウ 基本図書は、評価の定まったものを体系的に幅広く選定する。
- エ 実用書は、内容のわかりやすい入門的・概説的なものを中心に選定する。
- オ 専門書は、地域事情等を考慮し、利用の見込めるものを選定する。
- カ 自然科学・情報科学の分野は、特に情報の更新に留意し、最新の情報を提供できる資料を選定する。
- キ 図書館に関する資料は、積極的に収集する。
- ク 文学書は、著名な賞の受賞作等、評価の定まったものを中心に選定する。また、玉野市および岡山県の郷土作家の作品は積極的に収集する。
- ケ 新書本は、評価の定まったものを中心に選定する。
- コ 文庫本は、単行本では入手できないもので、かつ評価の定まったものを中心に選定する。
- サ 漫画本は、原則として収集しない。但し、内容の独自性、社会的評価等を考慮して検討を行うものとする。
- シ 大活字本は、出版状況に応じ、新刊を一定数購入する。
- ス 複本は、原則として購入しない。但し、著しく予約が続き利用者に不便を与えると考えられる場合（目安として予約日から貸出予定日まで6か月以上）、その後の利用も考慮して購入を検討する。その際、本館あるいは館外いずれかに所蔵の偏りが出ないように留意する。

#### (2) 本館用児童図書

- ア 基本的図書として、読みつがれ評価の定まったものを収集する。
- イ 子どもの発達段階・興味関心に応じたものを選定する。
- ウ 正確な知識が得られ、かつ情報が最新のものを選定する。
- エ 読み物は、文章が洗練されて読みやすく、正しい日本語で書かれているものを選定する。その際、内容を充分検討することとする。
- オ 絵本は、絵と文章の調和がとれているものを選定する。また、文章は洗練されて読みやすく、正しい日本語で書かれているものとする。
- カ 紙芝居は、その資料的特性が発揮され、絵と文章の調和がとれているものを選定する。また、文章は洗練されて読みやすく、正しい日本語で書かれているものとする。

(別紙 11 「玉野市立図書館資料収集基準」)

(3) 参考資料

- ア 市民の調査研究に役立つ各分野の参考図書を、幅広く収集する。
- イ 情報が正確で新しいものを選定する。
- ウ 定期的に刊行される資料は、今後の継続性に留意して選定する。
- エ レファレンス経験を活かし、過去の調査実績等を考慮して選定する。

(4) 郷土資料

- ア 玉野市が発行する資料は、図書以外の媒体も含め網羅的に収集する。
- イ 玉野市在住・玉野市出身・玉野市に深く関わりのある人物の著作、およびそれらの人物に関する資料を収集する。
- ウ 玉野市と関係の深い地域の資料の収集も留意する。

(5) 雑誌

- ア 市民の趣味・娯楽および調査研究に役立つ最新の雑誌を収集する。
- イ 流行や市民の興味関心等に留意して選定する。

(6) 新聞

- ア 山陽新聞（玉野圏版）をはじめ、一般全国紙等主要な日刊紙を中心に収集する。
- イ 各種専門紙、スポーツ紙等は厳選して収集する。

(7) 視聴覚資料

- ア 映像資料は、各分野において社会的・学術的・芸術的評価を得たものを選定する。
- イ 録音資料は、民謡・童謡等の郷土芸能、記録的価値の高いものを中心に選定する。

(8) 市民センター・移動図書館用図書（館外用図書）

原則的には、一般図書・児童図書ともに、本館用図書に準ずるものとする。但し、利用者層を考慮して日常生活や趣味に役立つ実用書、および読み物等を中心に選定する。

(9) 特殊コレクション（津野熊文庫）

海事・海の生態系・海でのレクリエーション等に関する図書を選定する。

(10) 寄贈図書

- ア 一般図書・児童図書ともに、本館用図書に準ずるものとする。
- イ 個人出版については、玉野市在住・玉野市出身玉野市在住・玉野市出身・玉野市に深く関わりのある人物の著作、およびそれらの人物に関する資料とする。
- ウ 既に所蔵があるものは、原則として受入しない。但し、利用状況や資料の保存等を鑑みて、複本を検討するものとする。